

司法書士

君も在学中の3000時間を学業に投資しないか？

- 就活無双・独立も視野！
- 年齢・性別関係なく一生働ける
- 社会的信用大の国家資格



2026年度担当講師
大澤 千夏先生

【次ページ】

課外講座で大澤先生から学び、本学在学中に司法書士試験に合格した佐野さんと大澤先生とのインタビューは必見！

日本大学法学部 就職指導課(10号館2階)

〒101-8375 東京都千代田区神田三崎町2丁目3番1号

03(5275)8509

日本大学法学部 課外講座サポート体制

私達が一丸となって「連携」して司法書士試験受験生をサポートします

課外講座 司法書士講座



▽講座スケジュール(火曜日・金曜日)
令和8年5月～令和10年1月 基礎講座・練習講座
令和10年2月～令和10年6月 答案練習会



ipadを使用した
視覚的な講義

主要4科目の民法・不動産登記法・商法・商業登記法に加えて、民事訴訟法・民事執行法・民事保全法・供託法・司法書士法の合わせて9科目の基礎講義(インプット)および書式の練習アウトプットを行います。また、インプットの段階でも過去問集を配付して、アウトプットのための思考方法を鍛えます。
※憲法・刑法のインプット講義は令和10年5月から別講師によるWEB動画受講の予定です。

課外講座担当講師 司法書士 大澤 千夏 先生



【Profile】

令和元年度司法書士試験合格
一般企業に就職後、将来を考える中で専門性の高い法律系の仕事に就きたいとの思いから、2年目で合格。現在三児の母。
「大学生の時に体験したことは人生の財産。今の勉強は自分への投資になるので、時間を有効活用しながら挑戦していきましょう。」

学生研究室 司法書士科研究室

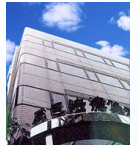


司法書士科研究室では、**課外講座と連動し、本学教員及びOB・OG司法書士による**、記述式科目を含め試験科目全般についての十分な指導を行っています。
夏期合宿、答案練習会、上級者向け答案練習会と実力を高める指導をしています。

連携

辰巳法律研究所

「あなたの熱意・辰巳の誠意」がコンセプトの法律系資格試験指導校 課外講座へ経験豊富な実務家講師を招聘。
講座で使用しているテキストやレジュメの制作、学生の質問や欠席フォローまで一貫して丁寧に対応しています。また司法書士科研究室へ「答案練習会」や「全国公開模試」を提供。日本大学内だけでなく全国規模で学生の実力(学力)を測っています。



疑問解消！司法書士講座 Q & A

Q1.司法書士試験は独学で合格を目指せますか？

A1. 司法書士試験は出題される科目数が多く、覚えるべき知識量も膨大です。そのうえ近年は法改正された分野がすぐに出題される傾向にあり、出題傾向を分析し、今後の出題を予測していくことが必要不可欠です。受験生が自力でこれらを分析・予測するのはかなりの労力と手間を要します。その点、司法書士講座は、基本的な知識を効率的に吸収できるように設計され、最新の法改正を踏まえた講義を展開しますので短期合格を狙うことができます。

Q2.課外講座 司法書士講座について教えてください。

A2. 大学が提携している資格取得スクール「辰巳法律研究所」による司法書士試験対策講座です。
毎週火曜日と金曜日、大学の正課授業後にキャンパス内で開講しています。そのため、わざわざ学外の資格取得スクールに時間と交通費をかけて通う必要がありません。受講料も大学から補助がでていますので、廉価で本格的な資格取得スクールの講義を受講することができます。また、司法書士科研究室に入室することで、司法書士講座の復習ゼミを受講出来る等、受講後の学習までしっかりサポートしてもらえます。司法書士講座カリキュラム終了後は答案練習会や全国総合模試も無料で受講できるメリットがあります。

受講料 30,000円 教材費45,000円 …詳細は4月に実施の講座説明会でお知らせします。

Q3.司法書士科研究室について教えてください。

A3. 司法書士を目指す学生の学習を支援することを目的とした学生研究室です。課外講座 司法書士講座と連動し、本学教員及びOB・OG司法書士による、記述式科目を含め試験科目全般についての十分な指導を行っています。多くの先輩方もこの研究室で学び、同じ目標をもつ仲間を作って、切磋琢磨し、試験勉強に打ち込み合格の栄冠を勝ち取ってきました。
入室すると専用の自習室と個人ロッカーが利用できるのもメリットです。先輩達もこの自習室から課外講座に出席して、予習や復習に役立っています。課外講座を受講する学生は同時に司法書士科研究室へ入室することをおすすめします。

*10月に入室試験がありますが、4月～5月に仮登録することで、5月から学生研究室を利用することができます。

…詳細は4月に実施の講座説明会でお知らせします。

Q4.課外講座 司法書士講座のフォロー制度はありますか？

A4. 受講生専用サイトを利用できます。最新の試験情報を得ることができるほか、例えば、体調不良等で授業を欠席してしまった時はサイトから講義音声ダウンロードできます。臨時で配付されるレジュメ等もサイトからダウンロードできます。またサイトでは受講生専用の質問ブログが利用できますので、学習していて疑問に思ったことは授業がない日でも、直接講師に質問してその場で解決することができます。司法書士講座受講生なら質問ブログの内容は誰でも閲覧できるので、他の質問から新たに学修の気付きを得ることがあるかも知れません。

あなたの熱意・辰巳の誠意
提携：辰巳法律研究所

企画営業部 法人提携グループ

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-3-6 電話:03(6457)3136



司会 辰巳法律研究所 瀬川

佐野亮太さん

大澤先生

最難関の国家資格の一つと言われている「司法書士試験」を大澤先生の指導の下、在学中に合格された佐野亮太さんに聞いた合格までの軌跡。そのインタビューの一部を掲載します。

瀬川 本日はお忙しい中、ありがとうございます。2026年4月に入学予定の新入生の皆様に向けて、日本大学法学部の司法書士講座がどのような位置付けなのか、そのリアルを語って頂きたいと思います。まずは佐野さん、高校生の頃から司法書士という職業を意識されていたそうですね？

佐野 はい。母が不動産仲介の仕事をしていた影響もあり、将来は「自分の力で、1人で独立して働ける力をつけたい」という思いが強くなりました。高校生の時、進路を考えるタイミングで司法書士という資格を知り、大学入学と同時に挑戦しようと心に決めていました。

瀬川 1年生からいきなり難関資格に挑むことに、不安はありませんでしたか？

佐野 正直、最初は右も左も分かりませんでした。でも、日本大学法学部の講座は受講料が約7万円と、外部の予備校に通うのと比べて圧倒的に安かったんです。この「金銭的なハードルの低さ」があったからこそ、「まずはやってみよう」と一歩を踏み出せた気がします。

大澤 その「とりあえず始めてみる」という決断は、実は理にかなっています。1年生から始める最大のメリットは、大学受験を終えたばかりで「勉強する習慣」がまだ体に残っていることです。大学生活に慣れてから……と先送りにするよりも、受験の熱量が残っているうちに新しい知識を吸収し始める方が、記憶の定着という点でも圧倒的に有利なんです。

瀬川 佐野さんの代は、コロナ禍の影響でオンライン受講がメインの時期もありましたよね。

佐野 そうなんです。最初は完全オンラインで、他の学生とのコミュニケーションが全くありませんでした。1人で画面に向かって勉強していると、自分が今どの位置にいるのかも分からず、何度も挫折しそうになりました。実際に、その時期に脱落してしまった仲間も多かったように感じます。

大澤 司法書士試験は「短距離走」ではなく「マラソン」です。1人で走り続けるのは、どんなに意志が強い人でも限界があります。だからこそ、私たちは講座を単なる知識伝達ではなく、学生を支える「伴走者」でありたいと考えています。

佐野 その「伴走者」の存在を強く実感したのが、「司法書士科研究室」でした。研究室に行けば、同じ目標を持つ仲間がいて、勉強が終わった後に一緒にご飯を食べに行ったり、他愛もない話をしたりできる。その「横の繋がり」ができたことで、「あいつが頑張っているから、自分ももうひと踏ん張りしよう」と思えるようになりました。あの場所がなければ、今の僕はなかったと断言できます。

瀬川 日本大学法学部には、講座という「学びの場」だけでなく、研究室という「切磋琢磨の場」がある。これが他大学にはない大きな強みですね。

大澤 そうですね。研究室ではOBの実務家の先生が指導に来てくれることもあり、合格した後のイメージも湧きやすい。佐野さんの質問も、最初は「分からないから教えてください」という内容でしたが、次第に「しっかり勉強していないと出てこない、鋭い疑問」へと進化していきました。その成長を間近で見守れるのは、講師としても非常に嬉しいことでした。

瀬川 具体的な勉強法についても伺いたいのですが、佐野さんはどのように時間を捻出していたのですか？

佐野 大学生は人生で最も時間がある時期だと言われますが、それでも講義やバイト、サークルとの両立は課題になります。僕の場合は、「場所ごとに役割を決める」ことを徹底しました。大学の自習室は「勉強する場所」、家は「休む場所」。そう決めることで、自習室にいる間は極限まで集中できました。

大澤 スマホとの付き合い方も工夫していましたよね。

佐野 はい。僕自身もそうでしたが、後輩の中には「タイムロックコンテナ」を使って、自習室のロッカーにスマホを閉じ込めて、物理的に触れないようにしている人もいました。いかにして「勉強しかできない環境」を自分で作るかが勝負です。

瀬川 教材は、大澤先生も推奨されている「リアスティック」シリーズが中心だったのでしょうか？

佐野 はい。僕は「1冊のテキスト(リアスティック)を極める」というスタイルでした。あれこれ手を出すのではなく、同じテキストを何度も、何度も回すんです。最低でも7回、僕は13回ほど回しましたし、合格した仲間の中には全科目のテキストを20周以上読み込んだという強者もいました。

大澤 司法書士試験は、新しいことを覚えるよりも、「覚えたことをいかに落とさないか(忘れないか)」の勝負です。人間だから忘れるのは当たり前。でも、忘れる前にまた次の周回で拾い上げる。その地道な繰り返し(復習)ができる人が、最後には合格を掴み取ります。

瀬川 見事、在学中に合格を果たした佐野さんですが、その後の就職活動はいかがでしたか？

佐野 一言で言うと、「どこへ行っても驚くほど高く評価される」という状況でした。面接に行くと、まず「この若さで合格したのはすごいね」という話から始まります。就職活動の際には、複数社から内定をいただきました。面接の途中で「もう合格(採用)させることは決まっているから」という雰囲気を感じることもあったほどです。

大澤 今の時代、一般企業でも「法務」の知識を持つ人材は重宝されますが、司法書士資格はその最高峰の一つです。学歴以上に「これだけの難関を突破した」という事実が、その人の忍耐強さと能力の証明になるんです。

佐野 実務に出ると、責任の重さに緊張する毎日ですが、同時に「心の余裕」も生まれました。万が一今の職場が合わなくても、「資格があるから、次がすぐに見つかる」という安心感は、人生において非常に大きなアドバンテージです。

瀬川 昨今はAIの進化が話題ですが、実務の現場で「人間にしかできない価値」を感じる瞬間はありますか？

佐野 AIは情報の裏取りには使えますが、最後は「誰が責任を取るのか」という問題に突き当たります。司法書士の仕事は、自分の職印一つに全責任を負う仕事です。これはAIには代替できません。

大澤 加えて、司法書士は究極の「サービス業」でもあります。相続や離婚など、不安を抱えて相談に来られるお客様に対して、じっくり話を聞き、専門家として「大丈夫ですよ」と安心させて差し上げる。この「人を落ち着かせる」という情緒的なサポートは、人間にしかできない仕事です。

瀬川 最後に、これから日本大学法学部への入学者で、さらにハードな学習に挑むべきか迷っている学生たちにメッセージをお願いします。

大澤 大学4年間をどう過ごすかは自由です。しかし、もし少しでも「自分を変えたい」「将来が不安だ」と思っているなら、ぜひこの講座に飛び込んでください。

私たちは、あなたが最後まで走り抜けるための「伴走者」として、精一杯サポートすることを約束します。

佐野 入学した時は、僕も皆さんと同じように期待と不安の中にいました。今振り返って思うのは、「あの時の自分の決断を、その後の努力で正解にできて良かった」ということです。とりあえずやってみる。その一歩が、4年後のあなたに「一生モノの自信」をプレゼントしてくれるはずです。日本大学法学部には、切磋琢磨できる最高の仲間と環境が待っています。ぜひ、勇気を持って挑戦してください。

瀬川 お二人とも、本日は貴重なお話をありがとうございました。皆さんの挑戦を、私も全力で応援しています。最後までお読みいただきありがとうございました。